

## 第39回 定時株主総会 招集ご通知

開催  
日時

2021年5月19日（水曜日）  
午前10時（受付開始：午前9時）

開催  
場所

愛知県刈谷市若松町二丁目104番地  
刈谷市総合文化センター  
アイリス 大ホール

### 株主様へのお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、株主総会へのご出席に際しましては、株主総会開催日時点での流行状況やご自身の体調をご確認のうえ、ご来場をご判断くださいますようお願い申し上げます。

なお、株主総会会場におきましては、検温、手指の消毒、マスクの着用およびソーシャルディスタンス確保による座席数の削減等、株主様の安全に配慮した感染防止の処置を講じますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。  
また、書面（郵送）またはインターネット等による事前の議決権行使のご活用をお願い申し上げます。

### 目次

|          |    |
|----------|----|
| 招集ご通知    | 1  |
| 株主総会参考書類 | 5  |
| 提供書面     |    |
| 事業報告     | 13 |
| 連結計算書類   | 25 |
| 計算書類     | 28 |
| 監査報告書    | 31 |

証券コード 7649

2021年4月30日

株主の皆様へ

愛知県安城市三河安城町一丁目8番地4

**スギホールディングス株式会社**

代表取締役会長 杉 浦 広 一

## 第39回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第39回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、株主総会へのご出席に際しましては、株主総会開催日時点での流行状況やご自身の体調をご確認のうえ、ご来場をご判断くださいますようお願い申し上げます。なお、当日のご出席に代えて、書面（郵送）またはインターネット等によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の「株主総会参考書類」をご検討のうえ、後述いたしますご案内の方法により2021年5月18日（火曜日）午後6時までに議決権をご行使くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

- |         |   |                                                                                                                        |
|---------|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 日    | 時 | 2021年5月19日（水曜日）午前10時（受付開始：午前9時）                                                                                        |
| 2. 場    | 所 | 愛知県刈谷市若松町二丁目104番地 刈谷市総合文化センターアイリス 大ホール                                                                                 |
| 3. 目的事項 |   |                                                                                                                        |
| 報告事項    |   | 1. 第39期（2020年3月1日から2021年2月28日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件<br>2. 第39期（2020年3月1日から2021年2月28日まで）計算書類報告の件 |

決 議 事 項

議 案 取締役6名選任の件 (5頁から12頁まで)

以 上

- ~~~~~
- ・ 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。また、議事資料として「本ご通知」をご持参くださいますようお願い申し上げます。
  - ・ 事業報告の「会社の体制および方針」ならびに連結注記表および個別注記表につきましては、法令および当社定款第18条の規定に基づき、「本ご通知」への記載に代えて、インターネット上の当社ウェブサイト (<https://www.sugi-hd.co.jp/>) に掲載しております。
  - ・ 株主総会参考書類ならびに事業報告、連結計算書類および計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト (<https://www.sugi-hd.co.jp/>) に掲載させていただきます。

## 新型コロナウイルス感染防止対応についてのお願い

本総会における、新型コロナウイルス感染防止に向けた対応について、以下のとおりご案内させていただきます。株主の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 1. 全ての株主様へのお願い

- 株主総会開催日時点での流行状況やご自身の体調をご確認のうえ、ご来場をご判断くださいますようお願い申し上げます。特にご高齢の方、基礎疾患をお持ちの方は、ご無理なさらず、ご来場をお控えいただきますようお願い申し上げます。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面（郵送）またはインターネット等による事前の議決権行使をご活用ください。事前の議決権行使方法の詳細につきましては、本ご通知3頁から4頁までをご参照ください。
- 株主総会当日までの感染拡大の状況等により、株主総会の運営に変更が生じる可能性がございます。株主の皆様にお知らせすべき事項が発生した場合には、当社ウェブサイト（<https://www.sugi-hd.co.jp/>）にてお知らせいたします。

### 2. ご来場される株主様へのお願い

- 会場では、マスクのご着用やアルコール消毒液のご使用等にご協力をお願いいたします。
- 受付にて検温をさせていただき、発熱があると認められる株主様、体調不良と見受けられる株主様には、ご入場をお断りする場合がございます。
- ソーシャルディスタンス確保のため、会場の座席数が例年より大幅に減少いたします。座席が足りなくなった場合には、ご入場をお断りする場合がございます。
- 接触感染リスク低減のため、お飲み物等の提供、自社商品等の展示コーナーの設置は中止させていただきます。
- 株主総会の運営スタッフは、検温等によって体調を確認したうえで参加し、マスク着用にて対応いたします。

その他必要に応じて感染予防の措置を講じておりますので、株主の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



株主総会に  
ご出席される場合

日時



書面（郵送）で議決権を  
行使される場合

行使期限



インターネットで議決権を  
行使される場合

行使期限

2021年5月18日(火曜日)  
午後6時入力完了分まで

## 議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

▶こちらに議案の賛否をご記入ください。

● 一部の候補者に  
反対する場合

➤ 「賛」の欄に○印をし、  
反対する候補者の番号を  
ご記入ください。

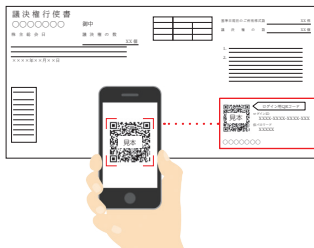
書面（郵送）およびインターネット等の両方で議決権行使をされた場合は、インターネット等による議決権行使を有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。また、インターネット等により複数回、議決権行使をされた場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。

# インターネット等による議決権行使のご案内

## QRコードを読み取る方法

議決権行使書用紙に記載のログインID、仮パスワードを入力することなく、議決権行使サイトにログインすることができます。

- 1 議決権行使書用紙に記載のQRコードを読み取ってください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

QRコードを用いたログインは1回に限り可能です。

再行する場合、もしくはQRコードを用いずに議決権を行使する場合は、右の「ログインID・仮パスワードを入力する方法」をご確認ください。

## ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://evote.tr.mufig.jp/>

- 1 議決権行使ウェブサイトにアクセスしてください。

- 2 議決権行使書用紙に記載された「ログインID・仮パスワード」を入力しクリックしてください。

「ログインID・仮パスワード」を入力

「ログイン」をクリック

- 3 新しいパスワードを登録する。

「新しいパスワード」を入力

「送信」をクリック

- 4 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

※操作画面はイメージです。

インターネットによる議決権行使でパソコンやスマートフォン、携帯電話の操作方法などがご不明な場合は、右記にお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ヘルプデスク

0120-173-027

(通話料無料／受付時間 9:00~21:00)

機関投資家の皆様は、株式会社ICJの運営する機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームをご利用いただくことが可能です。

議案

取締役6名選任の件

取締役7名全員は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役6名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番 号 | 氏 名                                    | 現在の当社における地位等 | 当事業年度の<br>取締役会への<br>出 席 状 況 | 候 補 者 属 性      |
|------------|----------------------------------------|--------------|-----------------------------|----------------|
| 1          | <small>さかき ばら えい いち</small><br>榊 原 栄 一 | 代表取締役社長      | 100%<br>(12/12回)            | 再 任            |
| 2          | <small>すぎ うら かつ のり</small><br>杉 浦 克 典  | 代表取締役副社長     | 100%<br>(12/12回)            | 再 任            |
| 3          | <small>すぎ うら しん や</small><br>杉 浦 伸 哉   | 取締役          | 100%<br>(12/12回)            | 再 任            |
| 4          | <small>かみ の しげ ゆき</small><br>神 野 重 行   | 取締役          | 100%<br>(12/12回)            | 再 任<br>社 外 独 立 |
| 5          | <small>は やま よし こ</small><br>葉 山 良 子    | 取締役          | 100%<br>(12/12回)            | 再 任<br>社 外 独 立 |
| 6          | <small>ほり み ち こ</small><br>堀 美 智 子     | 取締役          | 100%<br>(10/10回)※           | 再 任<br>社 外 独 立 |

※ 堀美智子氏の出席状況は、2020年5月20日の取締役就任以降のものとなります。

1

さかき ばら えい いち  
**榎 原 栄 一**

(1956年 8月14日生)



再 任

所有する当社の株式数  
**152,000株**

取締役在任年数  
**23年** (本総会終結時)

取締役会出席状況  
**12回中12回** (100%)

■ 略歴、当社における地位、担当

1986年 9月 当社入社  
2008年 9月 株式会社スギ薬局常務取締役  
2011年 3月 株式会社スギ薬局代表取締役社長  
**2017年 3月 株式会社スギ薬局代表取締役会長 (現任)**  
**2017年 5月 当社代表取締役社長 (現任)**

■ 重要な兼職の状況

株式会社スギ薬局代表取締役会長

■ 取締役候補者とした理由

候補者は、豊富な業務経験とグループ経営およびヘルスケア業界に関する深い知見を有し、主力の調剤事業ならびにドラッグストア事業の収益基盤強化を実現するとともに、コーポレートガバナンスの強化を含む経営改革など、その職責を果たしております。以上のことから、持続的な企業価値の向上を目指す当社の創業以来の経営理念の実現とともに、当社グループ全体を監督する適切な人材と判断し、引き続き選任をお願いするものであります。

2

すぎ うら かつ のり  
杉 浦 克 典

(1978年10月14日生)



再 任

所有する当社の株式数  
1,892,000株

取締役在任年数  
4 年 (本総会終結時)

取締役会出席状況  
12回中12回 (100%)

#### ■ 略歴、当社における地位、担当

2006年 3月 当社入社  
2011年 3月 株式会社スギ薬局常務取締役  
2014年 3月 スギスマイル株式会社代表取締役社長 (現任)  
2017年 3月 株式会社スギ薬局代表取締役社長 (現任)  
2018年 3月 スギメディカル株式会社代表取締役副社長 (現任)  
2018年 5月 当社代表取締役副社長 (現任)

#### ■ 重要な兼職の状況

株式会社スギ薬局代表取締役社長  
スギメディカル株式会社代表取締役副社長  
スギスマイル株式会社代表取締役社長

#### ■ 取締役候補者とした理由

候補者は、株式会社スギ薬局およびスギメディカル株式会社の代表取締役として経営に携わるなど、豊富な業務経験とグループ経営に関する深い知見を有し、当社グループの事業戦略である「トータルヘルスケア戦略」の実現に向けた事業推進および事業提携、海外事業、DX、ESGの推進など、その職責を果たしております。以上のことから、持続的な企業価値の向上を目指す当社グループ全体の業務執行責任者として適切な人材と判断し、引き続き選任をお願いするものであります。





再 任

所有する当社の株式数

1,892,000株

取締役在任年数

4年（本総会終結時）

取締役会出席状況

12回中12回（100%）

#### ■ 略歴、当社における地位、担当

2004年 4月 当社入社

2010年 3月 株式会社スギ薬局取締役在宅医療営業部長

2011年 3月 スギメディカル株式会社取締役（現任）

2017年 3月 株式会社スギ薬局常務取締役（現任）

2017年 5月 当社取締役（現任）

#### ■ 重要な兼職の状況

株式会社スギ薬局常務取締役

スギメディカル株式会社取締役

#### ■ 取締役候補者とした理由

候補者は、株式会社スギ薬局の常務取締役として、医療・生活サービス、商品販売に関する専門的な知見を有し、当社グループの主力事業である調剤事業の強靱化および地域医療の連携強化、ならびにドラッグストア事業の収益基盤強化など、その職責を果たしております。以上のことから、持続的な企業価値の向上を目指す当社グループ全体の業務推進のリーダーシップを発揮する適切な人材と判断し、引き続き選任をお願いするものであります。

4

かみ の しげ ゆき  
神 野 重 行

(1947年5月23日生)



再 任

社 外

独 立

所有する当社の株式数

一株

取締役在任年数

6年（本総会終結時）

取締役会出席状況

12回中12回（100%）

#### ■ 略歴、当社における地位、担当

1970年 4月 名古屋鉄道株式会社入社

2007年 5月 三重産業株式会社代表取締役（現任）

2008年 6月 名古屋鉄道株式会社代表取締役副社長

2009年 4月 株式会社名鉄百貨店代表取締役社長

2012年 5月 中部百貨店協会会長

2015年 5月 当社取締役（現任）

#### ■ 重要な兼職の状況

三重産業株式会社代表取締役

#### ■ 社外取締役候補者とした理由および期待される役割の概要

候補者は、長年にわたり、他企業において会社経営に携わり、経営に関する豊富な経験と知識に基づき、取締役会の審議において、積極的な発言・提言を行っており、また、指名・報酬委員会の委員長を務めております。候補者には、企業経営に関する高い見識および監督能力に基づく大所高所からの適切な監督と助言を期待し、引き続き選任をお願いするものであります。

5

は や ま よ し こ  
葉 山 良 子

(1959年10月7日生)



再 任

社 外

独 立

所有する当社の株式数

一株

取締役在任年数

5年（本総会終結時）

取締役会出席状況

12回中12回（100%）

### ■ 略歴、当社における地位、担当

1983年 4月 株式会社富士銀行（現株式会社みずほ銀行）入行

1994年 3月 公認会計士登録

2015年 1月 葉山良子公認会計士事務所代表（現任）

2016年 5月 当社取締役（現任）

2016年 8月 日本公認会計士協会専門研究員（現任）

2017年 6月 株式会社ココスジャパン社外取締役

2018年 5月 株式会社アダストリア社外監査役（現任）

2020年 3月 株式会社ダイナックホールディングス社外取締役  
（監査等委員）（現任）2020年 6月 株式会社ゼンショーホールディングス社外取締役  
（現任）

### ■ 重要な兼職の状況

葉山良子公認会計士事務所代表

日本公認会計士協会専門研究員

株式会社アダストリア社外監査役

株式会社ダイナックホールディングス社外取締役（監査等委員）

株式会社ゼンショーホールディングス社外取締役

### ■ 社外取締役候補者とした理由および期待される役割の概要

候補者は、公認会計士ならびに上場企業の社外取締役および社外監査役として培われた豊富な経験と知識を有しており、取締役会の審議において積極的な発言・提言を行っております。候補者には、経営管理に関する高い専門性と独立した立場からの適切な監督と助言を期待し、引き続き選任をお願いするものであります。なお、同氏は過去に社外役員となること以外の方法で会社の経営に関与した経験はありませんが、上記の理由により社外取締役としての職務を適切に遂行できるものと判断しております。



再 任

社 外

独 立

所有する当社の株式数

一株

取締役在任年数

1年（本總會終結時）

取締役会出席状況

10回中10回（100%）

#### ■ 略歴、当社における地位、担当

1977年 4月 名城大学薬学部医薬情報室勤務

1980年 2月 帝京大学薬学部医薬情報室勤務

1998年 4月 公益社団法人日本薬剤師会常務理事

1998年 5月 株式会社エス・アイ・シー取締役（現任）

2002年 4月 一般社団法人日本臨床栄養協会理事（現任）

2007年 9月 一般社団法人日本薬業研修センター医薬研究所  
所長（現任）

2015年 9月 一般社団法人日本女性薬局経営者の会会長（現任）

2020年 5月 当社取締役（現任）

#### ■ 重要な兼職の状況

株式会社エス・アイ・シー取締役

一般社団法人日本臨床栄養協会理事

一般社団法人日本薬業研修センター医薬研究所所長

一般社団法人日本女性薬局経営者の会会長

#### ■ 社外取締役候補者とした理由および期待される役割の概要

候補者は、医薬情報の提供等を目的とする他企業において会社経営に携わるとともに、各種団体の理事等を務めるなど、経営に関する豊富な経験および医療分野における高い専門的知識を有しており、取締役会の審議において積極的な発言・提言を行っております。候補者には、企業経営および医療分野における高い見識からの適切な監督と助言を期待し、引き続き選任をお願いするものであります。

- (注) 1. 取締役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 神野重行、葉山良子、堀美智子の3氏は、社外取締役候補者であります。なお、当社は、東京証券取引所および名古屋証券取引所に対して、神野重行、葉山良子、堀美智子の3氏を独立役員として届け出ており、原案どおり3氏が再任された場合、引き続き独立役員とする予定であります。
3. 神野重行、葉山良子、堀美智子の3氏は、現在、当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって神野重行氏が6年、葉山良子氏が5年、堀美智子氏が1年となります。
4. 当社は、神野重行、葉山良子、堀美智子の3氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、同法第423条第1項の損害賠償責任を金500万円以上であらかじめ定める金額または法令の定める最低限度額のいずれが高い額に限定する旨の契約を締結しております。また、上記の3氏の再任が承認された場合、3氏との間で当該契約を継続する予定であります。

以 上

(提供書面)

# 事業報告 (2020年3月1日から2021年2月28日まで)

## 1 企業集団の現況

### (1) 当事業年度の事業の状況

#### ① 事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社会経済活動が大きく制限され、総じて厳しい状況で推移しました。また、12月以降の感染再拡大により、緊急事態宣言が再発出されるなど、経済の先行きにつきましては不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景に、マスクや消毒用アルコールなどの感染予防商品、食料品や生活用品などの巣ごもり関連商品の需要が増加した一方、テレワークの推進といった生活スタイルの変化による化粧品需要の低迷、入国制限によるインバウンド需要の消失、マスクや手洗い、消毒薬使用の習慣化による風邪・インフルエンザ患者数の大幅減などが見られました。

このような環境の中、当社グループは、店舗での感染予防対策を徹底したうえで、従業員が親切に應對し、地域社会の最前線でお客様・患者様の安全で健康的な暮らしを支えるために営業活動を継続しました。また、コロナ禍においてお客様の評価が高まった地域密着型の店舗づくりや、デジタル活用による営業力強化および生産性向上の取り組みなどを積極的に推進してまいりました。

具体的には、

- ・創業来より展開してきたカウンセリングを中心とした接客販売体制の強化
- ・調剤事業の更なる拡大に向けた調剤実施店舗の増設
- ・地域のお客様との接点となるパートナー社員の更なる戦力化に向けた人事制度改革
- ・管理栄養士によるデジタルを活用した食事指導サービスの提供開始および特定保健指導の提供体制の拡充
- ・新たな顧客体験の創出や生産性向上を目的としたDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進などに取り組みました。

店舗の出退店につきましては、引き続き関東・中部・関西・北陸エリアへの出店に注力し、121店舗の新規出店、17店舗の閉店を実施いたしました。これにより、当連結会計年度末における店舗数は1,391店舗（前期末比104店舗増）となりました。

以上の結果、売上高は6,025億10百万円（前期比11.2%増、605億46百万円増）、売上総利益は1,812億91百万円（同11.8%増、191億9百万円増）、販売費及び一般管理費は1,475億90百万円（同11.5%増、151億69百万円増）、営業利益は337億1百万円（同13.2%増、39億39百万円増）、経常利益は353億33百万円（同12.3%増、38億60百万円増）、これに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益は211億20百万円（同1.6%増、3億38百万円増）となりました。

なお、当事業年度の期末配当金につきましては、1株当たり40円とし、支払開始日を2021年5月20日とすることを2021年4月6日開催の取締役会において決議しております。2020年11月に1株当たり40円の中間配当金をお支払いいたしましたので、年間配当金は1株当たり80円となります。

## ② 設備投資の状況

当連結会計年度において、当社グループが実施いたしました設備投資総額は、215億64百万円であり、その主なものは、新規出店121店舗に関するものが187億53百万円、システム関連投資が28億12百万円であります。

## ③ 資金調達の状況

該当事項はありません。

## ④ 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

該当事項はありません。

## ⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

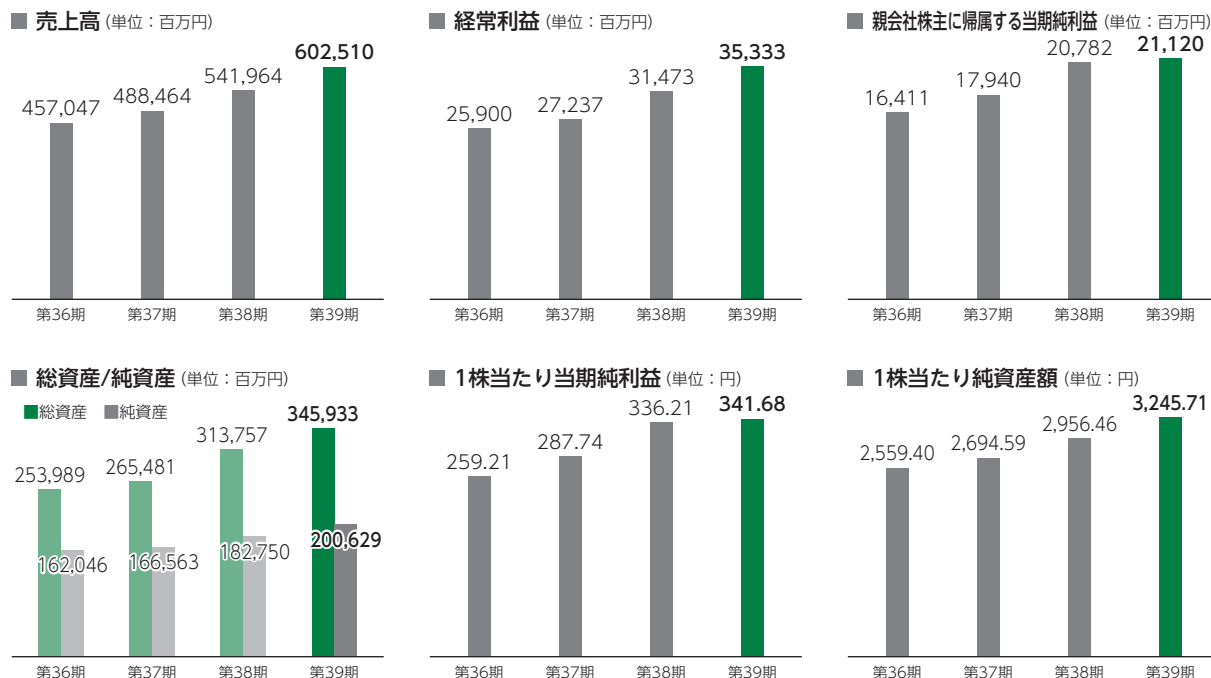
## ⑥ 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

## ⑦ 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況

該当事項はありません。

## (2) 直前3事業年度の財産および損益の状況



| 区分              |       | 第36期<br>2018年2月期 | 第37期<br>2019年2月期 | 第38期<br>2020年2月期 | 第39期<br>2021年2月期<br>(当連結会計年度) |
|-----------------|-------|------------------|------------------|------------------|-------------------------------|
| 売上高             | (百万円) | 457,047          | 488,464          | 541,964          | 602,510                       |
| 経常利益            | (百万円) | 25,900           | 27,237           | 31,473           | 35,333                        |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | (百万円) | 16,411           | 17,940           | 20,782           | 21,120                        |
| 1株当たり当期純利益      | (円)   | 259.21           | 287.74           | 336.21           | 341.68                        |
| 総資産             | (百万円) | 253,989          | 265,481          | 313,757          | 345,933                       |
| 純資産             | (百万円) | 162,046          | 166,563          | 182,750          | 200,629                       |
| 1株当たり純資産額       | (円)   | 2,559.40         | 2,694.59         | 2,956.46         | 3,245.71                      |

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均の発行済株式の総数により、1株当たり純資産額は、期末日現在の発行済株式の総数により算出しております。なお、1株当たり当期純利益および1株当たり純資産額の算出に際して、期中の発行済株式の総数および期末日現在の発行済株式の総数から自己株式数を控除しております。



### (3) 重要な親会社および子会社の状況

#### ① 親会社の状況

該当事項はありません。

#### ② 重要な子会社の状況

| 名称          | 資本金   | 議決権比率   | 主な事業内容    |
|-------------|-------|---------|-----------|
| 株式会社スギ薬局    | 50百万円 | 100.00% | ドラッグストア事業 |
| スギメディカル株式会社 | 50百万円 | 100.00% | 訪問看護事業    |

### (4) 対処すべき課題

当社グループでは、2020年度から2022年度の3か年を対象とした中期経営計画をスタートさせています。中期経営計画では、創業来変わることのない理念である地域医療への貢献を目的としたトータルヘルスケア戦略の展開を核に、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の展開強化、社会的価値と経済的価値の共存を目指したESGの推進、将来を支える人財の獲得・育成を強化して、当社グループの持続可能な成長を推進してまいります。

昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大は、日本におけるサステナビリティの重要性を再認識させ、当社グループが取り組むヘルスケア戦略の必要性を強く意識させるものとなりました。この戦略に沿った取り組みを推進していくことが、お客様・患者様、従業員、地域社会、投資家様に対し、当社グループの価値を中長期間にわたって提供していけると確信しております。

次期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、ワクチンの接種が開始されるものの、感染防止対策としての外出規制など、経済活動の一部制限が続く可能性もあり、本格的な回復に向けては時間を要すると考えられます。このような中、ドラッグストア業界におきましては、各社の積極的な出店やM&Aによって業界内の競争がより厳しさを増すことが予想され、薬価改定も実施されることなどから、ドラッグストア業界を取り巻く環境も、依然として予断を許さない状況が続くと思われます。

このような環境下、当社グループは、コロナ禍において変化した健康・予防意識や消費者の生活様式に対応した店舗づくりや、コロナ禍で大きく伸長したデジタルを活用したお客様・患者様との接点強化およびサービスづくりに注力してまいります。更に、当社の創業来の強みである調剤事業においては、デジタルの徹底活用による更なる対人業務の強化と生産性の向上に努めてまいります。

(5) **主要な事業内容** (2021年2月28日現在)

当社グループにおいては、トータルヘルスケア戦略に基づき、医薬品・健康食品・化粧品・日用品を販売するとともに、処方せん調剤や地域の医療関係者と連携した在宅医療に取り組む「地域医療対応型ドラッグストア」の経営のほか、お客様の健康維持・予防から介護・終末期のケアまでを一貫してサポートするための各種サービスを提供しております。

(6) **主要な営業所** (2021年2月28日現在)

|             |                   |
|-------------|-------------------|
| 当社          | 愛知県大府市横根町新江62番地の1 |
| 株式会社スギ薬局    | 愛知県大府市横根町新江62番地の1 |
| スギメディカル株式会社 | 東京都千代田区鍛冶町二丁目6番1号 |

営業拠点

|   |   |    | スギ薬局  |              | ジャパン | スギ訪問看護<br>ステーション | 合計    |
|---|---|----|-------|--------------|------|------------------|-------|
|   |   |    |       | 在宅医療<br>実施店舗 |      |                  |       |
| 茨 | 城 | 県  | 4     | —            | —    | —                | 4     |
| 栃 | 木 | 県  | 4     | —            | —    | —                | 4     |
| 群 | 馬 | 県  | 34    | 2            | —    | —                | 34    |
| 埼 | 玉 | 県  | 111   | 34           | —    | —                | 111   |
| 千 | 葉 | 県  | 17    | 8            | —    | 1                | 18    |
| 東 | 京 | 都  | 157   | 66           | —    | —                | 157   |
| 神 | 奈 | 川  | 44    | 16           | —    | 3                | 47    |
| 関 | 東 | 小計 | 371   | 126          | —    | 4                | 375   |
| 岐 | 阜 | 県  | 58    | 21           | —    | —                | 58    |
| 静 | 岡 | 県  | 27    | 5            | —    | —                | 27    |
| 愛 | 知 | 県  | 360   | 191          | —    | 2                | 362   |
| 三 | 重 | 県  | 58    | 27           | —    | —                | 58    |
| 中 | 部 | 小計 | 503   | 244          | —    | 2                | 505   |
| 福 | 井 | 県  | 10    | —            | —    | —                | 10    |
| 石 | 川 | 県  | 17    | 3            | —    | —                | 17    |
| 富 | 山 | 県  | 7     | 1            | —    | —                | 7     |
| 北 | 陸 | 小計 | 34    | 4            | —    | —                | 34    |
| 滋 | 賀 | 県  | 42    | 24           | 6    | —                | 48    |
| 京 | 都 | 府  | 38    | 21           | 13   | —                | 51    |
| 大 | 阪 | 府  | 194   | 77           | 54   | 7                | 255   |
| 兵 | 庫 | 県  | 68    | 38           | 32   | —                | 100   |
| 奈 | 良 | 県  | 17    | 7            | 6    | —                | 23    |
| 関 | 西 | 小計 | 359   | 167          | 111  | 7                | 477   |
| 総 | 拠 | 点  | 1,267 | 541          | 111  | 13               | 1,391 |

(注) 1. 在宅医療実施店舗の数は、スギ薬局の店舗数の内数であります。  
2. スギ訪問看護ステーションには、スギメディカル株式会社の子会社である株式会社HMAの訪問看護ステーション2拠点を含んでおります。

|         |       |     |
|---------|-------|-----|
| 連結会計年度内 | 新設拠点数 | 121 |
| 連結会計年度内 | 閉鎖拠点数 | 17  |
| 連結会計年度内 | 純増拠点数 | 104 |

(7) 使用人の状況 (2021年2月28日現在)

| 使用人数             | 前連結会計年度末比増減     |
|------------------|-----------------|
| 6,710 (11,467) 名 | +528 (+1,185) 名 |

(注) 使用人数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

(8) 主要な借入先の状況 (2021年2月28日現在)

該当事項はありません。

(9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2 会社の現況

### (1) 株式の状況（2021年2月28日現在）

- ① 発行可能株式総数 200,000,000株
- ② 発行済株式の総数 63,330,838株
- ③ 株主数 27,585名
- ④ 大株主（上位10名）

| 株主名                                                                                                                   | 持株数      | 持株比率   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------|
| 株式会社スギ商事                                                                                                              | 20,605千株 | 33.33% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）                                                                                               | 3,878    | 6.27   |
| 杉 浦 克 典                                                                                                               | 1,892    | 3.06   |
| 杉 浦 伸 哉                                                                                                               | 1,892    | 3.06   |
| 株式会社日本カストディ銀行（信託口）                                                                                                    | 1,658    | 2.68   |
| THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051                                                                                    | 1,472    | 2.38   |
| 株式会社ツルハ                                                                                                               | 1,272    | 2.05   |
| STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST,<br>BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS- UNITED KINGDOM | 1,199    | 1.94   |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223                                                                            | 1,086    | 1.75   |
| THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042                                                                                    | 1,015    | 1.64   |

(注) 1. 当社は、自己株式を1,517,115株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### (2) 新株予約権等の状況

該当事項はありません。

### (3) 会社役員の状況

#### ① 取締役および監査役の状況（2021年2月28日現在）

| 会社における地位  | 氏名      | 担当および重要な兼職の状況                                                                                                  |
|-----------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役会長   | 杉 浦 広 一 | 株式会社スギ商事代表取締役社長                                                                                                |
| 代表取締役社長   | 榊 原 栄 一 | 株式会社スギ薬局代表取締役会長                                                                                                |
| 代表取締役副社長  | 杉 浦 克 典 | 株式会社スギ薬局代表取締役社長<br>スギメディカル株式会社代表取締役副社長<br>スギスマイル株式会社代表取締役社長                                                    |
| 取 締 役     | 杉 浦 伸 哉 | 株式会社スギ薬局常務取締役<br>スギメディカル株式会社取締役                                                                                |
| 取 締 役     | 神 野 重 行 | 三重産業株式会社代表取締役                                                                                                  |
| 取 締 役     | 葉 山 良 子 | 葉山良子公認会計士事務所代表<br>日本公認会計士協会専門研究員<br>株式会社アダストリア社外監査役<br>株式会社ダイナックホールディングス社外取締役（監査等委員）<br>株式会社ゼンショーホールディングス社外取締役 |
| 取 締 役     | 堀 美 智 子 | 株式会社エス・アイ・シー取締役<br>一般社団法人日本臨床栄養協会理事<br>一般社団法人日本薬業研修センター医薬研究所所長<br>一般社団法人日本女性薬局経営者の会会長                          |
| 常 勤 監 査 役 | 坂 本 利 彦 | 株式会社スギ薬局監査役                                                                                                    |
| 監 査 役     | 安 田 加 奈 | 安田会計事務所所長<br>株式会社グオホールディングス社外取締役<br>シンボ株式会社社外監査役<br>中央発條株式会社社外取締役<br>コンドーテック株式会社社外取締役（監査等委員）                   |
| 監 査 役     | 神 谷 誠   | 公認会計士税理士神谷誠事務所所長<br>株式会社Mizkan Asset監査役<br>ヤマザキマザックキャピタル株式会社監査役                                                |

- (注) 1. 取締役神野重行、取締役葉山良子、取締役堀美智子の3氏は、社外取締役であります。なお、当社は、東京証券取引所および名古屋証券取引所に対して、同3氏を独立役員として届け出ております。
2. 常勤監査役坂本利彦、監査役安田加奈、監査役神谷誠の3氏は、社外監査役であります。なお、当社は、東京証券取引所および名古屋証券取引所に対して、同3氏を独立役員として届け出ております。
3. 常勤監査役坂本利彦、監査役安田加奈、監査役神谷誠の3氏は、次のとおり財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。
- ・常勤監査役坂本利彦氏は、伊藤忠製糖株式会社において、取締役財務経理担当として決算手続きおよび財務諸表作成等に從事した経験を有しております。
  - ・監査役安田加奈氏は、公認会計士および税理士の資格を有しております。
  - ・監査役神谷誠氏は、公認会計士および税理士の資格を有しております。

## ② 事業年度中に退任した監査役

| 氏名      | 退任日        | 退任理由 | 退任時の地位 |
|---------|------------|------|--------|
| 浅 野 薫 夫 | 2020年5月20日 | 任期満了 | 社外監査役  |

## ③ 取締役および監査役の報酬等

イ. 当事業年度に係る報酬等の総額

| 区分                 | 員数        | 基本報酬           | 賞与           | 総額             |
|--------------------|-----------|----------------|--------------|----------------|
| 取 締 役<br>(うち社外取締役) | 5名<br>(3) | 109百万円<br>(14) | 47百万円<br>(-) | 157百万円<br>(14) |
| 監 査 役<br>(うち社外監査役) | 4<br>(4)  | 17<br>(17)     | -<br>(-)     | 17<br>(17)     |
| 合 計<br>(うち社外役員)    | 9<br>(7)  | 127<br>(31)    | 47<br>(-)    | 174<br>(31)    |

(注) 1. 取締役の報酬等の総額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。

2. 取締役の報酬額は、2007年5月24日開催の第25回定時株主総会において、年額400百万円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。

3. 監査役の報酬額は、2007年5月24日開催の第25回定時株主総会において、年額30百万円以内と決議いただいております。

4. 上記には、2020年5月20日開催の第38回定時株主総会終結の時をもって退任した社外監査役1名に対する報酬等を含んでおります。

ロ. 社外役員が親会社および子会社等から受けた役員報酬等の総額

該当事項はありません。

#### ④ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等の重要な兼職の状況および当社と当該他の法人等との関係

- ・取締役神野重行氏は、三重産業株式会社の代表取締役であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。
- ・取締役葉山良子氏は、葉山良子公認会計士事務所の代表、日本公認会計士協会の専門研究員、株式会社アダストリアの社外監査役、株式会社ダイナックホールディングスの社外取締役（監査等委員）、株式会社ゼンショーホールディングスの社外取締役であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。
- ・取締役堀美智子氏は、株式会社エス・アイ・シーの取締役、一般社団法人日本臨床栄養協会の理事、一般社団法人日本薬業研修センター医薬研究所の所長、一般社団法人日本女性薬局経営者の会の会長であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。
- ・常勤監査役坂本利彦氏は、株式会社スギ薬局の監査役であります。当社は、兼職先の議決権を100%保有しており、当社と兼職先との間には店舗設備の賃貸、業務委託および資金の借入等の取引関係がありますが、当社と同社との間に社外役員の独立性に影響を及ぼす事項はありません。
- ・監査役安田加奈氏は、安田会計事務所の所長、株式会社ゲオホールディングスの社外取締役、シンボ株式会社の社外監査役、中央発條株式会社の社外取締役、コンドーテック株式会社の社外取締役（監査等委員）であります。当社と株式会社ゲオホールディングスとの間には不動産賃貸借の取引関係がありますが、当社と同社との間に社外役員の独立性に影響を及ぼす事項はありません。また、当社とその他の兼職先との間には特別の関係はありません。
- ・監査役神谷誠氏は、公認会計士税理士神谷誠事務所の所長、株式会社Mizkan Assetの監査役、ヤマザキマザックキャピタル株式会社の監査役であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。

ロ. 当事業年度における主な活動状況

| 区分    | 氏名   | 活動状況                                                                                                    |
|-------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役   | 神野重行 | 当事業年度に開催された取締役会12回のうち12回に出席し、流通業界における他社代表取締役および業界団体役員等の経験を活かした業務執行全般にわたる発言を行っております。                     |
| 取締役   | 葉山良子 | 当事業年度に開催された取締役会12回のうち12回に出席し、主に公認会計士の経験および知見に基づく会計分野の専門的見地から、適宜必要な発言を行っております。                           |
| 取締役   | 堀美智子 | 社外取締役就任後に開催された取締役会10回のうち10回に出席し、主に医療分野における専門的見地から、適宜必要な発言を行っております。                                      |
| 常勤監査役 | 坂本利彦 | 当事業年度に開催された取締役会12回のうち12回、監査役会14回のうち14回に出席し、他社での代表取締役の経験を活かした業務執行全般にわたる発言を行っております。                       |
| 監査役   | 安田加奈 | 当事業年度に開催された取締役会12回のうち12回、監査役会14回のうち14回に出席し、主に公認会計士および税理士の経験および知見に基づく会計・税務分野の専門的見地から、適宜必要な発言を行っております。    |
| 監査役   | 神谷誠  | 社外監査役就任後に開催された取締役会10回のうち10回、監査役会10回のうち10回に出席し、主に公認会計士および税理士の経験および知見に基づく会計・税務分野の専門的見地から、適宜必要な発言を行っております。 |

ハ. 責任限定契約の内容の概要

当社は、会社法第427条第1項の規定に基づき、取締役神野重行氏、取締役葉山良子氏、取締役堀美智子氏、常勤監査役坂本利彦氏、監査役安田加奈氏および監査役神谷誠氏との間で、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、同法第423条第1項の損害賠償責任を金500万円以上であらかじめ定める金額または法令の定める最低限度額のいずれか高い額に限定する旨の契約を締結しております。



#### (4) 会計監査人の状況

##### ① 名称

有限責任監査法人トーマツ

##### ② 報酬等の額

|                                        | 支払額   |
|----------------------------------------|-------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                    | 29百万円 |
| 当社および連結子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 51    |

- (注) 1. 当社の連結子会社である株式会社スギ薬局につきましても有限責任監査法人トーマツが会計監査人となっております。
2. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額には、これらの合計額を記載しております。
3. 監査役会は、会計監査人から説明を受けた当事業年度の会計監査計画の監査人数や人員配置などの内容、前年度の監査実績の検証と評価、会計監査人の監査の遂行状況の相当性、報酬の前提となる見積の算出根拠を精査した結果、会計監査人の報酬等の額について同意いたしました。

##### ③ 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の監査能力、信用力および監査報酬等を、別途定める「会計監査人の選定要領」、 「会計監査人の評価実施要領」を利用して総合的に勘案し、会計監査人の職務の執行に支障がある場合など、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案を決定し、取締役会は、当該決定に基づき当該議案を株主総会の会議の目的とすることといたします。

また、監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる事態が生じ、かつ改善の見込みがないと判断した場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨およびその理由を報告いたします。

##### ④ 責任限定契約の内容の概要

該当事項はありません。

# 連結計算書類

## 連結貸借対照表 (2021年2月28日現在)

(単位：百万円)

| 科目              | 金額             |
|-----------------|----------------|
| <b>資産の部</b>     |                |
| <b>流動資産</b>     | <b>213,871</b> |
| 現金及び預金          | 86,845         |
| 売掛金             | 31,655         |
| 有価証券            | 9,000          |
| 商品              | 71,165         |
| その他             | 15,207         |
| 貸倒引当金           | △1             |
| <b>固定資産</b>     | <b>132,062</b> |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>82,209</b>  |
| 建物及び構築物         | 59,910         |
| 土地              | 8,517          |
| 建設仮勘定           | 2,861          |
| その他             | 10,919         |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>5,326</b>   |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>44,527</b>  |
| 投資有価証券          | 6,032          |
| 長期貸付金           | 4              |
| 繰延税金資産          | 9,839          |
| 差入保証金           | 25,747         |
| その他             | 2,938          |
| 貸倒引当金           | △36            |
| <b>資産合計</b>     | <b>345,933</b> |

| 科目                 | 金額             |
|--------------------|----------------|
| <b>負債の部</b>        |                |
| <b>流動負債</b>        | <b>128,391</b> |
| 買掛金                | 91,061         |
| 未払法人税等             | 6,588          |
| 賞与引当金              | 2,599          |
| その他                | 28,142         |
| <b>固定負債</b>        | <b>16,912</b>  |
| 退職給付に係る負債          | 7,304          |
| 資産除去債務             | 6,087          |
| その他                | 3,520          |
| <b>負債合計</b>        | <b>145,304</b> |
| <b>純資産の部</b>       |                |
| <b>株主資本</b>        | <b>198,751</b> |
| 資本金                | 15,434         |
| 資本剰余金              | 24,632         |
| 利益剰余金              | 167,983        |
| 自己株式               | △9,298         |
| <b>その他の包括利益累計額</b> | <b>1,878</b>   |
| その他有価証券評価差額金       | 2,208          |
| 退職給付に係る調整累計額       | △329           |
| <b>純資産合計</b>       | <b>200,629</b> |
| <b>負債純資産合計</b>     | <b>345,933</b> |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書 (2020年3月1日から2021年2月28日まで)

(単位：百万円)

| 科目              | 金額     |         |
|-----------------|--------|---------|
| 売上高             |        | 602,510 |
| 売上原価            |        | 421,219 |
| 売上総利益           |        | 181,291 |
| 販売費及び一般管理費      |        | 147,590 |
| 営業利益            |        | 33,701  |
| 営業外収益           |        |         |
| 受取利息及び配当金       | 149    |         |
| 固定資産受贈益         | 439    |         |
| 受取賃貸料           | 1,801  |         |
| 受取手数料           | 464    |         |
| 補助金収入           | 550    |         |
| その他             | 302    | 3,708   |
| 営業外費用           |        |         |
| 支払利息            | 21     |         |
| 賃貸収入原価          | 1,425  |         |
| 固定資産除却損         | 135    |         |
| その他             | 493    | 2,075   |
| 経常利益            |        | 35,333  |
| 特別損失            |        |         |
| 減損損失            | 3,812  | 3,812   |
| 税金等調整前当期純利益     |        | 31,521  |
| 法人税、住民税及び事業税    | 12,355 |         |
| 法人税等調整額         | △1,955 | 10,400  |
| 当期純利益           |        | 21,120  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 |        | 21,120  |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書 (2020年3月1日から2021年2月28日まで)

(単位：百万円)

|                           | 株主資本   |        |         |        |         |
|---------------------------|--------|--------|---------|--------|---------|
|                           | 資本金    | 資本剰余金  | 利益剰余金   | 自己株式   | 株主資本合計  |
| 当連結会計年度期首残高               | 15,434 | 24,632 | 151,807 | △9,297 | 182,577 |
| 連結会計年度中の変動額               |        |        |         |        |         |
| 剰余金の配当                    |        |        | △4,945  |        | △4,945  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益           |        |        | 21,120  |        | 21,120  |
| 自己株式の取得                   |        |        |         | △1     | △1      |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) |        |        |         |        |         |
| 連結会計年度中の変動額合計             | —      | —      | 16,175  | △1     | 16,173  |
| 当連結会計年度末残高                | 15,434 | 24,632 | 167,983 | △9,298 | 198,751 |

|                           | その他の包括利益累計額      |                  |                   | 純資産合計   |
|---------------------------|------------------|------------------|-------------------|---------|
|                           | その他有価証券<br>評価差額金 | 退職給付に係る<br>調整累計額 | その他の包括利益<br>累計額合計 |         |
| 当連結会計年度期首残高               | 317              | △144             | 172               | 182,750 |
| 連結会計年度中の変動額               |                  |                  |                   |         |
| 剰余金の配当                    |                  |                  |                   | △4,945  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益           |                  |                  |                   | 21,120  |
| 自己株式の取得                   |                  |                  |                   | △1      |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | 1,890            | △185             | 1,705             | 1,705   |
| 連結会計年度中の変動額合計             | 1,890            | △185             | 1,705             | 17,879  |
| 当連結会計年度末残高                | 2,208            | △329             | 1,878             | 200,629 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 計算書類

## 貸借対照表 (2021年2月28日現在)

| 科目              | 金額             |
|-----------------|----------------|
| <b>資産の部</b>     |                |
| <b>流動資産</b>     | <b>165,211</b> |
| 現金及び預金          | 68,042         |
| 売掛金             | 1,199          |
| 有価証券            | 9,000          |
| 前払費用            | 2,880          |
| 関係会社短期貸付金       | 349            |
| 未収入金            | 83,740         |
| その他             | 1              |
| 貸倒引当金           | △1             |
| <b>固定資産</b>     | <b>124,632</b> |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>81,102</b>  |
| 建物              | 61,961         |
| 構築物             | 5,321          |
| 土地              | 8,731          |
| 建設仮勘定           | 2,861          |
| その他             | 2,227          |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>5,217</b>   |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>38,312</b>  |
| 投資有価証券          | 5,615          |
| 関係会社株式          | 2,560          |
| 関係会社長期貸付金       | 883            |
| 長期前払費用          | 1,217          |
| 繰延税金資産          | 2,077          |
| 差入保証金           | 25,501         |
| その他             | 1,152          |
| 貸倒引当金           | △696           |
| <b>資産合計</b>     | <b>289,844</b> |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

| 科目                  | 金額             |
|---------------------|----------------|
| <b>負債の部</b>         |                |
| <b>流動負債</b>         | <b>104,503</b> |
| 関係会社短期借入金           | 18,376         |
| 未払金                 | 80,114         |
| 未払法人税等              | 5,195          |
| 賞与引当金               | 2              |
| その他                 | 814            |
| <b>固定負債</b>         | <b>9,448</b>   |
| 資産除去債務              | 6,083          |
| その他                 | 3,364          |
| <b>負債合計</b>         | <b>113,951</b> |
| <b>純資産の部</b>        |                |
| <b>株主資本</b>         | <b>173,684</b> |
| <b>資本金</b>          | <b>15,434</b>  |
| <b>資本剰余金</b>        | <b>24,632</b>  |
| 資本準備金               | 24,632         |
| <b>利益剰余金</b>        | <b>142,918</b> |
| 利益準備金               | 90             |
| その他利益剰余金            | 142,827        |
| 別途積立金               | 78,540         |
| 繰越利益剰余金             | 64,287         |
| <b>自己株式</b>         | <b>△9,300</b>  |
| <b>評価・換算差額等</b>     | <b>2,207</b>   |
| <b>その他有価証券評価差額金</b> | <b>2,207</b>   |
| <b>純資産合計</b>        | <b>175,892</b> |
| <b>負債純資産合計</b>      | <b>289,844</b> |

## 損益計算書 (2020年3月1日から2021年2月28日まで)

(単位：百万円)

| 科目                | 金額     |        |
|-------------------|--------|--------|
| <b>売上高</b>        |        |        |
| 関係会社賃貸収入          |        | 39,942 |
| <b>営業収益</b>       |        |        |
| 経営管理料             | 12,031 |        |
| 関係会社受取配当金         | 7,020  |        |
| その他               | 25     | 19,077 |
| <b>売上高・営業収益合計</b> |        | 59,019 |
| <b>売上原価</b>       |        |        |
| 関係会社賃貸原価          |        | 36,912 |
| <b>売上総利益</b>      |        | 3,030  |
| <b>販売費及び一般管理費</b> |        | 3,105  |
| <b>営業利益</b>       |        | 19,001 |
| <b>営業外収益</b>      |        |        |
| 受取利息及び配当金         | 148    |        |
| 受取賃貸料             | 1,801  |        |
| その他               | 183    | 2,133  |
| <b>営業外費用</b>      |        |        |
| 支払利息              | 26     |        |
| 賃貸収入原価            | 1,432  |        |
| 貸倒引当金繰入額          | 193    |        |
| その他               | 269    | 1,921  |
| <b>経常利益</b>       |        | 19,214 |
| <b>特別損失</b>       |        |        |
| 減損損失              | 197    | 197    |
| <b>税引前当期純利益</b>   |        | 19,017 |
| 法人税、住民税及び事業税      | 4,152  |        |
| 法人税等調整額           | △580   | 3,572  |
| <b>当期純利益</b>      |        | 15,444 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書 (2020年3月1日から2021年2月28日まで)

(単位：百万円)

|                             | 株主資本   |        |             |       |           |             |         |            |             |
|-----------------------------|--------|--------|-------------|-------|-----------|-------------|---------|------------|-------------|
|                             | 資本金    | 資本剰余金  |             | 利益剰余金 |           |             | 自己株式    | 株主資本<br>合計 |             |
|                             |        | 資本準備金  | 資本剰余金<br>合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金  |             |         |            | 利益剰余金<br>合計 |
|                             |        |        |             |       | 別途<br>積立金 | 繰越利益<br>剰余金 |         |            |             |
| 当期首残高                       | 15,434 | 24,632 | 24,632      | 90    | 73,540    | 58,787      | 132,418 | △9,298     | 163,186     |
| 事業年度中の変動額                   |        |        |             |       |           |             |         |            |             |
| 別途積立金の積立                    |        |        |             |       | 5,000     | △5,000      | －       |            | －           |
| 剰余金の配当                      |        |        |             |       |           | △4,945      | △4,945  |            | △4,945      |
| 当期純利益                       |        |        |             |       |           | 15,444      | 15,444  |            | 15,444      |
| 自己株式の取得                     |        |        |             |       |           |             |         | △1         | △1          |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額（純額） |        |        |             |       |           |             |         |            |             |
| 事業年度中の変動額合計                 | －      | －      | －           | －     | 5,000     | 5,499       | 10,499  | △1         | 10,498      |
| 当期末残高                       | 15,434 | 24,632 | 24,632      | 90    | 78,540    | 64,287      | 142,918 | △9,300     | 173,684     |

|                             | 評価・換算差額等         |                | 純資産合計   |
|-----------------------------|------------------|----------------|---------|
|                             | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |         |
| 当期首残高                       | 317              | 317            | 163,504 |
| 事業年度中の変動額                   |                  |                |         |
| 別途積立金の積立                    |                  |                | —       |
| 剰余金の配当                      |                  |                | △4,945  |
| 当期純利益                       |                  |                | 15,444  |
| 自己株式の取得                     |                  |                | △1      |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額(純額) | 1,899            | 1,899          | 1,899   |
| 事業年度中の変動額合計                 | 1,899            | 1,899          | 12,387  |
| 当期末残高                       | 2,207            | 2,207          | 175,892 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 監査報告書

## 連結計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2021年4月13日

スギホールディングス株式会社  
取締役会 御 中

|                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 有限責任監査法人トーマツ<br>名古屋事務所 |                 |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員     | 公認会計士 鈴木 晴 久 ㊞  |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員     | 公認会計士 牧 野 秀 俊 ㊞ |

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、スギホールディングス株式会社の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、スギホールディングス株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。



監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 本ご通知の提供書面に記載の連結計算書類は、会計監査人が会計監査報告を作成するに際して監査をしたものの一部であります。なお、連結注記表につきましては、法令および当社定款第18条の規定に基づき、本ご通知への記載に代えて、インターネット上の当社ウェブサイト (<https://www.sugi-hd.co.jp/>) に掲載しております。

# 計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2021年4月13日

スギホールディングス株式会社  
取締役会 御中

|                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 有限責任監査法人トーマツ<br>名古屋事務所 |                 |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員     | 公認会計士 鈴木 晴 久 ㊞  |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員     | 公認会計士 牧 野 秀 俊 ㊞ |

### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、スギホールディングス株式会社の2020年3月1日から2021年2月28日までの第39期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 本ご通知の提供書面に記載の計算書類は、会計監査人が会計監査報告を作成するに際して監査をしたものの一部であります。なお、個別注記表につきましては、法令および当社定款第18条の規定に基づき、本ご通知への記載に代えて、インターネット上の当社ウェブサイト(<https://www.sugi-hd.co.jp/>)に掲載しております。

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、2020年3月1日から2021年2月28日までの第39期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、監査室その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2021年4月13日

スギホールディングス株式会社 監査役会

常勤社外監査役 坂 本 利 彦 ㊟

社 外 監 査 役 安 田 加 奈 ㊟

社 外 監 査 役 神 谷 誠 ㊟

(注) 本ご通知の提供書面に記載の事業報告、連結計算書類および計算書類は、監査役会が監査報告を作成するに際して監査をしたものの一部であります。なお、事業報告の「会社の体制および方針」ならびに連結注記表および個別注記表につきましては、法令および当社定款第18条の規定に基づき、本ご通知への記載に代えて、インターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.sugi-hd.co.jp/>）に掲載しております。

以 上

メ モ

Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines.

メ モ

Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines.

# 株主総会会場ご案内図

会場

愛知県刈谷市若松町二丁目104番地  
刈谷市総合文化センターアイリス 大ホール



交通

J R東海道本線・名鉄三河線「刈谷」駅下車（南口より連絡デッキ直結徒歩3分）

お願い

駐車場には限りがございますので、公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。

ご案内の会場は公共施設であり、新型コロナウイルスの感染拡大等で開催ができなくなる場合がございます。会場変更を含め、株主の皆様にお知らせすべき事項が発生した場合には、当社ホームページ (<https://www.sugi-hd.co.jp/>) にてご案内させていただきます。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

